



消化器外科部長 尾嶋 仁

COVID-19第7波はピークを超えましたが第8波の兆しが見えてきました。第7波ではCOVID-19と共存する生活も慣れてきて感染予防を意識しながら以前の生活スタイルを取り戻しつつありました。

病院に行くのを控えていた人も、症状があれば病院受診を躊躇無く行ってください。症状がなくても検診の重要性、必要性を再確認して頂きたいと思います。

今回の外科通信では、ロボット支援手術（ダビンチ）の現状、ロボット支援下手術の利点、医師の紹介、現在行われている臨床試験を紹介したいと思います。

1. 手術支援ロボット ダビンチ手術の現状

2022年10月までの実績は、食道癌:56例、胃癌:60例、直腸癌:200例です。

食道癌、胃癌、直腸癌でダビンチ手術指導者のプロクター取得。

直腸癌ダビンチ術者は3名、胃癌ダビンチ術者は2名で行なっています。

日本ロボット外科学会専門医 国内A級:1名、国内B級:1名。

食道癌では100%、直腸癌では95%以上、胃癌手術では、全体の70%、ロボット/鏡視下手術で行っています。

2. ロボット支援下手術 手術別の体位とポート配置を紹介します

食道癌、胃癌、大腸癌(直腸癌、右結腸癌、左結腸癌)で体位、ポート挿入位置が全く違います。

食道癌 【体位:腹臥位 鯖折り】



胃 癌

【体位:仰臥位で13度 head up】



直腸癌

【体位:碎石位 13度 head down 右側10度ローテーション】



❖ロボット支援下手術の利点❖

- ・3Dハイビジョン画像による安定した視野確保
- ・手ぶれ防止機能で細かい操作が安全に可能

👉 食道癌反回神経周囲リンパ節郭清、胃全摘の体腔内吻合、空間の狭い骨盤内の手術に適しています。

3. スタッフ紹介

国立がん研究センター中央病院 シニアレジデント修了後、当センターで大腸外科を行っている山田和之介医師を紹介します。

好いとうばい群馬！ 山田 和之介

日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)
日本ロボット外科学会専門医 国内B級



群馬に移住して5年目の節目を迎え、これまでの歩みを振り返りたいと思います。

私は博多で商売を営む両親の下に生まれ育ちました。福岡は大陸との交流が盛んであったことから、福岡県人の気質は陽気で開放的と言われており、私もその気質を受け継いでいるような気がします。2009年に医師免許取得後は、福岡を中心に外科医として修練を重ねて参りました。2015年「とにかく手術が上手になりたい！」の一心で、東京の国立がん研究センター中央病院大腸外科へ弟子入りしました。当時からロボット手術にも取り組む施設でしたので、私のような九州の田舎侍にはついていくのに必死でした。毎日朝から深夜まで手術室に籠もり、休日は論文執筆を行う日々で、あっという間に3年の月日が過ぎました。2018年卒業となり、群馬県へ移住する事となりました。

群馬県に来た当初から、環境の素晴らしさにとても感動しました。温和で親切な県民性、子供たちを安心して遊ばせることができる自然、そして沢山の古墳から徳川氏発祥までを語る事ができる歴史好きには垂涎の土地柄、挙げればキリがありませんが、私はすっかり惚れ込んでしまい、今では誰よりも群馬県を愛してやまない群馬っ子を自称しています。当院着任後は、内視鏡外科学会技術認定医取得、ダヴィンチ手術のcertificate取得など、やりがいのある仕事を沢山させて頂いております。これからも、医療の面から少しでもお役に立てるよう、一層の精進を重ねて参ります。

論文（山田医師業績）

- 1: Optimal timing for the resection of pulmonary metastases in patients with colorectal cancer.
Yamada K, Ozawa D, Onozato R, Suzuki M, Fujita A, Ojima H.
Medicine (Baltimore). 2020 Feb;99(9):e19144.
- 2: Learning curve for robotic bedside assistance for rectal cancer: application of the cumulative sum method.
Yamada K, Kogure N, Ojima H. J Robot Surg. 2022
Oct;16(5):1027-1035. doi: 10.1007/s11701-021-01322-4. Epub 2021 Nov 15.
- 3: Local skin flap procedure for repair of rectovaginal fistula: A case report.
Yamada K, Hirose T, Ojima H. Int J Surg Case Rep. 2022 Oct;99:107690.
doi: 10.1016/j.ijscr.2022.107690. Epub 2022 Sep 19.

臨床試験対象の患者さんを紹介して下さい！

〈未治療の患者さんが対象です〉

- ・再発、切除不能食道癌 (stage IV) の患者さん
- ・食道扁平上皮癌 (stage II-III) で、根治的放射線化学療法対象の患者さん
- ・下部直腸癌 pT1(sm)で内視鏡切除後追加切除の必要な患者さん
- ・直腸癌局所再発の患者さん(遠隔転移なし)

【食道癌】

KUNLUN 試験

局所進行切除不能食道扁平上皮癌患者を対象とした、デュルバルマブと根治的放射線化学療法との同時併用を検討する第Ⅲ相ランダム化二重盲検プラセボ対照国際共同多施設共同試験

食道癌関連 phase 1a study (再発、切除不能食道癌 stage IV)

固形癌患者を対象とした安全性、忍容性及び有効性を評価するTAS-102/MK-3475 併用療法の臨床第1b相試験 (MK3475-990)

【大腸癌】

JCOG2010

下部直腸癌に対するtotal neoadjuvant therapy (TNT) およびwatch and wait strategyの第Ⅱ/Ⅲ相単群検証的試験

JCOG2004

切除不能進行・再発大腸癌に対する二次化学療法におけるFOLFIRI療法と併用するVEGF阻害薬(ベバシズマブ、ラムシルマブ、アフリベルセプト)の選択に有用なバイオマーカーを探索するランダム化第Ⅱ相試験

JCOG2006

切除可能な局所高度進行結腸癌に対する術前mFOLFOX6療法と術前FOLFOXIRI療法のランダム化第Ⅱ相試験

JCOG2014

標準化学療法に不応・不耐な切除不能進行再発大腸癌患者を対象としたTrifluridine/Tipiracil単剤療法とBi-weekly Trifluridine/Tipiracil+Bevacizumab併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験

JCOG1805

再発リスク因子を有するStageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関するランダム化第Ⅲ相比較試験

JCOG1612

局所切除後の垂直断端陰性かつ高リスク下部直腸粘膜下層浸潤癌(pT1 癌)に対するカペシタビン併用放射線療法の単群検証的試験

JCOG1801

直腸癌局所再発に対する術前放射線療法の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

JCOG1609 INT. DREAM試験

JCOGとEORTCの国際共同研究

大腸癌 肝転移に対して腫瘍遺残の有無を判断できる術前画像診断の開発

大腸癌研究会プロジェクト研究

「直腸癌治療における側方郭清に関する前向き観察研究」(PLANET study)

CIRCULATE試験

遺伝子検査によるスクリーニング

遺伝子異常情報・臨床情報を大規模データベース化

GALAXY試験

根治的外科治療可能な結腸・直腸がんを対象としたリキッドバイオプシーによるスクリーニング研究

【お問い合わせ先】

群馬県立がんセンター 消化器外科 尾嶋 仁

住所: 〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1 TEL:0276-38-0771(代表) FAX:0276-38-0614

・診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL: <http://www.gunma-cc.jp>

TEL:0276-38-0771(代)

予約専用電話:0276-38-0762

